

民間初の街の鉄道

伝えたい千葉の産業技術 100 選

登録番号	第035号
名称	山万ユーカリが丘線
所在地	千葉県佐倉市ユーカリが丘 6-5-5 山万株式会社鉄道事業部
設立年	昭和 57(1982)年

選定理由

山万ユーカリが丘線は、昭和 57(1982)年に開通した新交通システムです。車両は「こあら号」の愛称で親しまれ、タウン内の 6 つの駅を 14 分で一周し、地域住民の便利な「足」となっています。

ユーカリが丘ニュータウンを開発した山万株式会社は、戦後初めて鉄道事業の許可を受け、民間としては日本で初めて独自の新交通システムを実用化しました。地域に密着した鉄道として、駅はタウン内のすべての家から歩いて 10 分以内に置かれています。開業以来無事故運転で、平成 29(2017)年に国土交通省関東運輸局長より「鉄道等の運転無事故事業者」として表彰され、その記録は現在も続いています。

山万ユーカリが丘線は日本で唯一の中央案内軌条式新交通システム「VONA(Vehicles Of New Age)」を採用しています。2 本の走行軌道の上を自動車と同じようなゴムタイヤで走るため、騒音や振動が少なく、排気ガスの心配がありません。さらに、軌条の幅を狭くできるため、トンネルや駅など、施設をコンパクトにできる利点もあります。



写真 1 : タウン内を走る山万ユーカリが丘線



写真 2 : こあら号



写真 3 : 車両下部と案内軌条

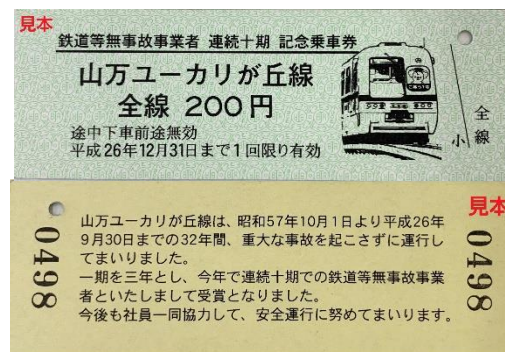


写真 4 : 平成 26 年記念乗車券

参考資料 1)山万ユーカリが丘線ホームページ

2)ちばの鉄道一世代 1996 白土貞夫 崙書房出版株式会社

3)平成 28 年度特別展 出発進行～もっと・ずっと・ちばの鉄道～ 千葉県立現代産業科学館

撮影協力：山万株式会社鉄道事業部